

2025.12.16 社会学 (田中重人)

第8講「規範と社会統制」

1. 前回内容への補足
2. フォークウェイズとモーレス
3. 価値と社会規範
4. 社会統制
5. 次回までの宿題

【アーキテクチャとメディア】

- 発信者 → 統制研究
- コンテンツ → 内容研究
- チャンネル → メディア分析
- 受信者 → オーディエンス分析
- 効果 → 効果分析

教科書 p. 247

【フォークウェイズとモーレス】

Folkways (慣習／生活様式)

人びとの行動に規則性を与える慣習

Mores (習律)

逸脱行為に対する制裁が伴うとき、
その行動規範

教科書 p. 37

【規範と価値】

Norm (規範)

社会成員の行動の指針となる規則や期待

Value (価値)

何が望ましいか、何が良いか、何が美しいかなどに関して人びとが判断する際に用いる基準

教科書 p. 37

【社会統制】

Deviance (逸脱)

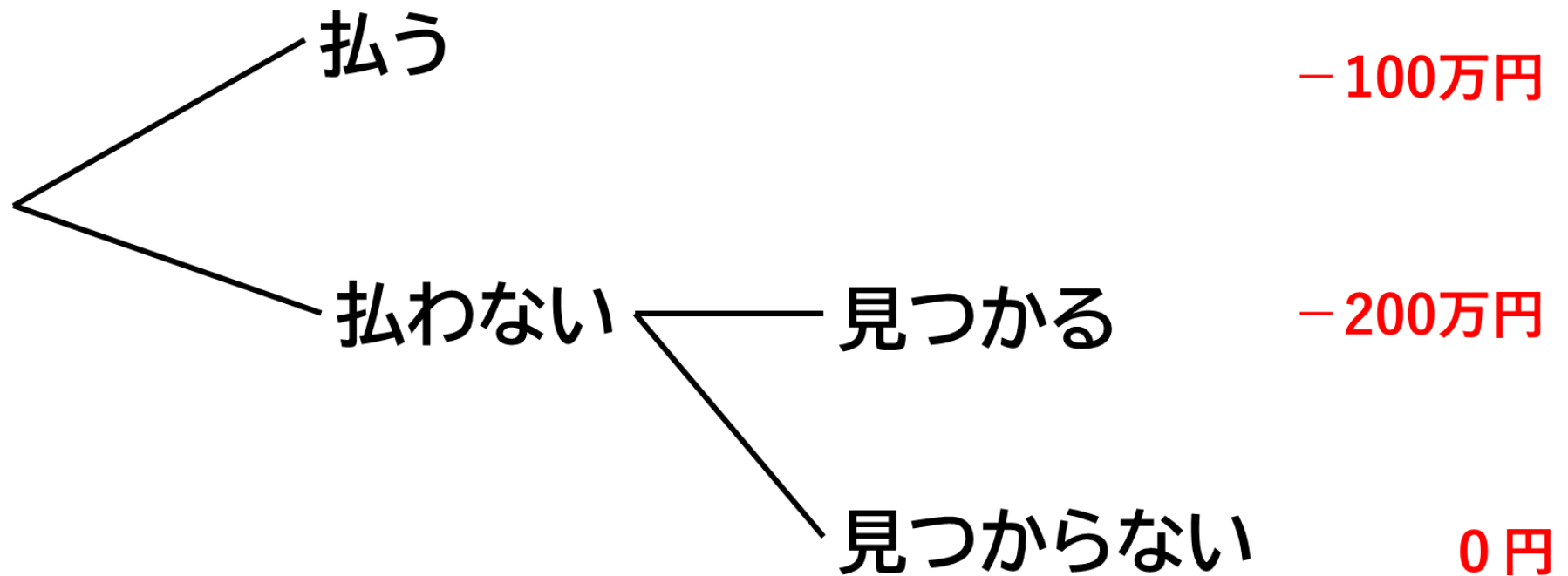
規範に反する状態や行為

Social control (社会統制)

逸脱をさせないようにするためのしかけ。
国家が法律に基づいて行使する formal なものと、それ以外の informal なものがある。

教科書 p. 84

納税に関する decision tree



【行動の規則性を生み出すもの】

- 自然環境
- アーキテクチャ
- インフォーマルな社会統制
- フォーマルな社会統制

【デュルケムの犯罪論】

犯罪の社会的機能

非難によって人びとの連帯意識が呼び起され、結果的に人びとの結びつきが強まる

犯罪の社会的構築

「われわれは、それを犯罪だから非難するのではなく、われわれがそれを非難するから犯罪なのである」

教科書 p. 75

【次回までの宿題】

課題 9: 社会構築主義

公式統計が実態からずれている事例としては、どのようなものがあるか。具体的に述べよ。